

抗肥満薬 lorcaserin

抗肥満薬 lorcaserin の心血管安全性を評価するための CAMELLIA -TIMI 61 試験の詳細が「*New England Journal of Medicine*」誌に掲載されました。



Lorcaserin は、食欲を調節するセロトニン 2C (5-HT_{2C}) 受容体の選択的アゴニスト。米国では、2012 年に食事療法と運動療法の補助療法として米食品医薬品局 (FDA) が承認しています。

lorcaserin 10mg 錠を 1 日 2 回投与する群 (lorcaserin 群) とプラセボ群に 6,000 例ずつランダムに割り付け、中央値で 3.3 年間追跡した結果、試験開始から 1 年後までに 5%以上の減量を達成した患者の割合は、プラセボ群の 17.4%に対して lorcaserin 群では 38.7%で、体重減少量は 40 カ月間にわたって維持されていました。



また、血圧や心拍数、脂質値、血糖値などの心血管代謝因子もプラセボ群と比べ、lorcaserin 群でわずかに優れていました。

安全性についてもプラセボ群に対する非劣性が
確認されました。

